

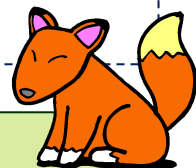


カヌーポロ・樹林散策等、みよし市民に親しまれている「保田ヶ池公園」。

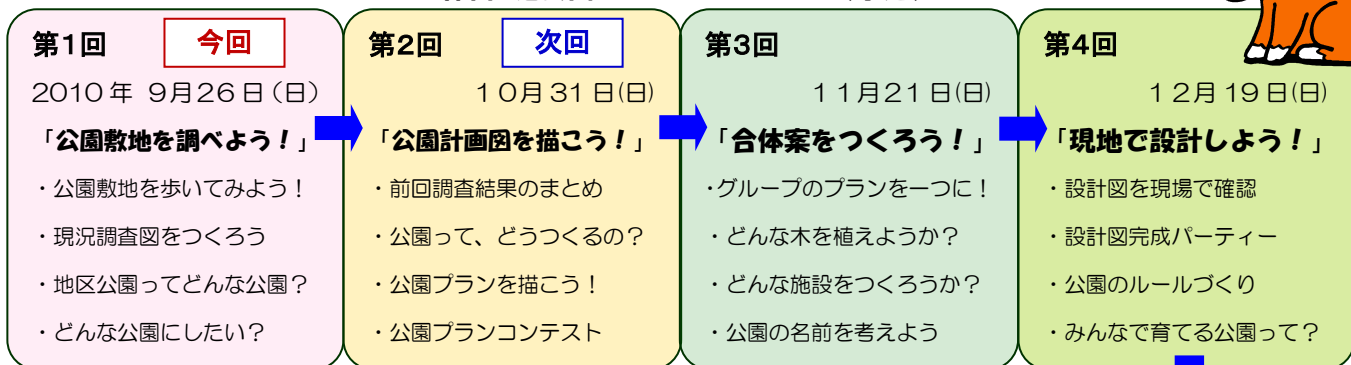
今回、公園の南側に敷地が約 2.2ha 拡張されることになりました。そこで、保田ヶ池公園が、これからも、地域の皆さんに親しまれ、大切に利用されていく公園になるよう、実際に公園を利用する市民の皆さんとともに、拡張される部分をどんな公園にするか、考えたいと思います。

楽しいワークショップにしたいと思います。皆さんの積極的なご参加を期待しています。

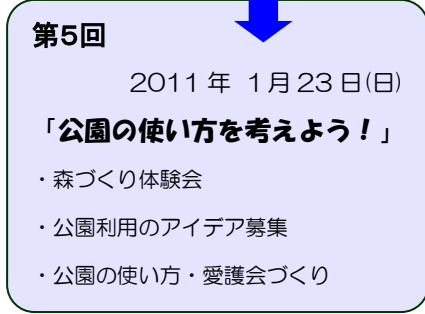
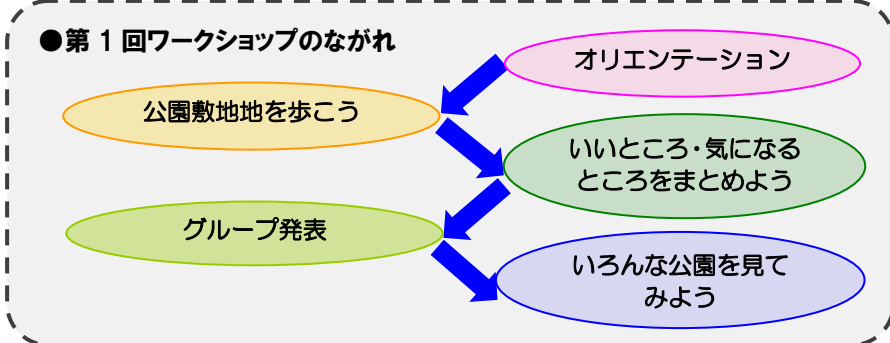
第1回ワークショップは、9月26日(日)の午後に13名の市民の皆さんとスタッフによって催され、現地踏査や資源・課題マップづくりをとおして、活発な意見交換が行われました。



●保田ヶ池公園ワークショップのながれ(予定)●



●第1回ワークショップのながれ



●あいさつ・オリエンテーション●

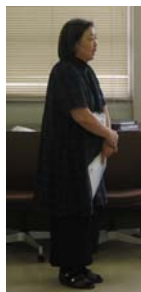


ワークショップに先立って、今回の公園計画を進める、みよし市役所都市計画課の宇野主幹から、挨拶と公園計画事業の経緯や目的についてお話がありました。



最後に、このワークショップの進行役を務める真弓さんから、自己紹介とワークショップ全体の進め方と今日のプログラムについて説明がありました。今回は、公園計画敷地を歩いて、課題や資源をみんなで集めます。そして次回の公園計画図に活かしていきます。

ワークショップ参加者の皆さん



引き続いて、このワークショップ業務を受託した、NPO法人あいち NPO 市民ネットワークセンターの新谷さんから、参加者に向けて、自己紹介とワークショップへの協力のお願いがありました。



●現地をみんなで歩いて確認しました●



↑公園南側のうっそうとした樹林地を抜けると、かつて果樹園地だった公園計画地に抜け出しました。現在の公園とどのようにつなげるか・・・。



↑南側の農道整備、調整池の掘削残土、公園敷地について、宇野主幹から説明を聞く参加者たち。



↑公園計画地西側から東方向を望む。東西に長い広大な敷地となっている。現在は、工事用の調整池となっているが整備後は元の地形に戻される。



↑愛知用水管が埋設される公園計画地の南側境界部。公園敷地はややくぼんだ地形になっています。



↑公園拡張計画地の南側境界部には、愛知用水が埋設される用水敷と、農道が併設されます。



↑拡張される公園計画地からは、台地上に広がる広大な景観が広がっていました。

●現地の資源（いいところ）と課題（気になるところ）を集めて発表しました● ……グループワーク

既存樹林が暗い。見通しの良い樹林地に・・・

場所によっては、遊具やベンチなどの人工的な公園化も必要では・・・？

子どもが遊べる芝生の斜面を・・・

竹林は残したいが、1ヶ所に管理して・・・

見晴らしがよいので展望台を・・・

土質は悪そうだな・・・

既存の森の崖地にはカワセミの営巣地ができるのでは・・・？

病院・特養・サンアートとの連絡を・・・。バリアフリー散策路を・・・。

窪地に水辺をつかって、子どもが遊べる場所を・・・。



主催：みよし市都市計画課
 TEL. (0561) 32-8021 Fax. (0561) 34-4429
 企画運営：NPO 法人あいち NPO 市民ネットワークセンター

次回は、10月31日(日) 午後1：30から4：30まで
 場所は、第1回と同じく、保田ヶ池力ヌーポロ競技場管理事務所
 2階会議室です
 テーマは、「公園を計画しよう！」です。お楽しみに！